

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月に1回、運営推進会を開催している。管理者が事業所の活動や利用者状況などをまとめ、市の担当や家族等に通知しているが、まとめた内容について、各委員に報告し、意見を得たり、職員間で協議・検討したりするまでには至っていない。	職員間で事業所の現状などについて、協議・検討を行ったり、各委員に協議内容を報告すると共に、意見を聞き・検討し、サービスの質の向上に繋げる。委員の方との繋がりが途切れないようにする。	市の担当の方に、活動・利用状況提出時に意見を得たり、地域委員の方には、2ヶ月に一度は訪問し、活動・利用状況・協議内容の資料提出・説明し意見を頂くようにし関係性が途切れないようにする。	12 か月
2	6	定期的に、身体拘束廃止委員会を開催している。日中、玄関は職員体制を考慮し開錠する時間を設けている。身体拘束に関する意識の向上に取り組む事を検討する。	今後も、玄関の開錠時間延長等について、職員間で協議・検討を行い、利用者の安全面に配慮しつつ、自由な暮らしの支援に向け職員の意識向上を図る。	職員体制を考慮し、月に1度外出支援を行う等、開錠の日を決め、利用者の安全面も考慮しながら自由に過ごせる時間を確保する。身体拘束委員会も継続し身体拘束に関する意識向上を図る。	12 か月
3	35	年2回、火災・地震等を想定した避難訓練、水害を想定した垂直訓練の実施しているが、法人が運営する併設施設・医療機関とも連携し協力体制を築いているが、地域からの協力を得るまでには至っていない。	事業所が、地域に避難訓練等への参加を呼び掛ける事で、地域の防災力強化にも繋がる。職員だけの誘導の限界等も踏まえ、地域住民・関係機関等からの協力を得る事ができるような取り組みを図る。	地域住民の方に行事・避難訓練のお便りを配布するなどし、参加を呼びかけ関連機関だけでなく、地域住民との協力関係が築けるようにする。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。